

日本における子ども虐待の現状と課題

—いま私たちにできること—

日時 2022年10月28日（金）13：00～14：30

場所 千里山キャンパス 尚文館 1階 マルチメディアAV大教室

講師 北村 由美（研究員、心理学研究科教授）

日本の児童虐待数は児童相談所で統計をとり始めた1990（H2）年度以降、増加の一途をたどっており、2020（R2）年度には20万5千件を超えました。虐待は人権侵害であると同時に、子どもの心身に大きな影響を及ぼします。また、近年の研究では、子どもの頃の虐待体験が後の精神疾患の発症を招き、脳の器質的・機能的な変化を伴うことも明らかになってきています。さらに、虐待で死亡するケースも1年間に数十件に上っており、諸外国同様、日本においても子ども虐待は深刻な問題となっております。これに対し、2000（H12）年に児童虐待防止法が制定され、子ども虐待に関連する法律や治療方法は少しずつ整備・確立されてきていますが、依然として虐待数は増加し続けており、法律改正やさまざまな対策をもってしても、改善の見通しはなかなか立っておりません。

本講座では、このような子ども虐待の現状ならびに虐待の心理的影響、現在行われている対応、今後の課題について取り上げ、子ども虐待防止のために私たちができることを、みなさまと一緒に考えて参りたいと思います。

* * *

●聴講無料
（定員80名／先着順）
＜事前申込制＞

人権問題研究室ホームページ トップページ (<https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>) にある「新着情報」内の本講座案内ページの申込フォームから事前に受講申込をしてください。定員になり次第、受付を終了します。

※受講申込にあたっては、以下の〔新型コロナウイルス感染予防対策〕にご留意のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。

〔新型コロナウイルス感染予防対策〕

- 受講者はマスクを必ず着用してください（マスク着用でない場合、受講はご遠慮ください）。
- 受講者は受付で手指消毒用のアルコールにて消毒してください（会場内は事前に消毒を行っています）。
- 座席は間隔を空けて設定いたします。また演台に近い座席は使用しません。
- 換気のため、会場の出入口のドアは講演中も開放いたします。
- 三密対策として、会場内やロビーでの談笑はご遠慮ください。
- 当日、体調不良の方、特に喉の痛み、咳、および熱のある方（体温が37.5℃以上の方）の受講はご遠慮ください。当日は入場時に検温を行います。
- 参加者に感染者が発生した場合は必要に応じて、保健所など公的機関へ氏名および連絡先の情報が提供されることがあります。
- 接触確認アプリCOCOAのインストールを推奨します。
- 感染拡大の際は、講座の開催を中止する場合があります（その場合、受講申込者に連絡いたします）。

手話通訳が必要な場合は、10月6日（木）までに人権問題研究室へご連絡ください。



主催 関西大学人権問題研究室

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35 阪急千里線「関大前」駅下車

Tel 06-6368-1182 Fax 06-6368-0081

ホームページ <https://www.kansai-u.ac.jp/hrs/>